

会議名	(仮称)市民参画条例策定委員会グループ会議 平日昼グループ(要旨)		
日時	平成19年1月11日(木) 午前10時~午後0時	場所	市役所東館7階 701会議室
出席者	平日昼グループ 5名(黒木、土井、前川、松本、和田)		
	職員 1名(武林)		
内 容			
<p>1.各自、これまでのグループ会議等の議論からまとめたことを発表</p> <p>(1)住民、行政は次の二つの立場がある。住民と行政の新しい関係を考えるときに、双方の立場をシンプルに考えてみると市民参画・協働の方向性が明確になるのではないか。</p> <p>住民=お客さん、行政=サービス提供者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民は納税者であり公共サービスを受けるお客さん。行政は公共サービスの提供者。 <p>住民は自治体という一つのコミュニティの構成員、行政は管理運営者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体を一つのコミュニティと考えると、住民はコミュニティの構成員であり、行政はコミュニティの管理運営者。そう考えると、住民もコミュニティの維持発展の責任を担っている。 <p>(2)市民参画の必要性を次のところに感じる。</p> <p>大型公共事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画段階から市民と行政が一緒になって立案する仕組みが必要。 <p>開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(ハード面の)まちづくりでは行政主導、業者主導ではなく、官・民・業の三位一体で取り組むべきと思う。 <p>審議会等</p> <p>公募制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民参画の原点であると思う。市民の意見の取り扱い方のルール化が必要。 <p>政策づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の意見が反映されていないように思う。市民も参画して考えていかなければいけない。 <p>(3)条例制定によって次のことが実現できないかと思っている。</p> <p>市会議員の活動報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の声を市政に反映させるというのは市民が選挙で選んだ市会議員だと思っているので、全議員に活動報告をしてもらうようにできないか。 			

審議会の公募制と情報の公開について

- ・ 審議会の委員を公募しているが、公募のあり方に行政主導を感じることもある。
- ・ 議事録等をホームページで見られるようにできないか。

各種団体について

- ・ 各団体が市政に参画しているがその内容が硬直化しているのではないか。また、団体自身も硬直化しているのではないか。

公募提案型事業への補助金支出について

- ・ 行政が各種団体に支出している補助金の流れを一般市民に分かるようにできないか。
- ・ しっかりと活動している団体に補助金を支出できるような仕組みが必要ではないか。

(4) 市民参画条例について

- ・ 市民参画・協働とは、ケネディ大統領が演説した「あなたたちは何ができるのか、自分が何をできるかを考えなさい」ということだと思う。

2. 各自の発表を踏まえて議論し、まとめていくことを確認

1月27日(土)の全体会議に発表するグループとしての「まとめ」を運営委員(土井委員)が作成する。

3. 今後の予定

全体会議 : 1月27日(土)午後6時30分~9時30分 プレラ4階 411学習室

運営委員会 : 1月20日(土)午後6時~8時 東館7階 701会議室

グループ会議 : 2月1日(木)午前10時~午後0時 東館7階 701会議室